Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし

平成25年6月1日▶平成26年5月31日

第69期 報告書

株主の皆様へ

経営の概況…… 01
セグメント別の概況…… 03
TOPICS …… 07
連結財務諸表…… 09
会社概要／株式情報…… 10

三協立山株式会社

証券コード 5932

株主の皆様へ

代表取締役会長 **藤木 正和**

代表取締役社長 **山下 清胤**

当期の経営環境と営業概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、円安による輸入資材価格の高止まりや技能労働力需給を中心とした労働市場の逼迫によるコスト増の影響が発生するなど、厳しい側面も見られましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要、政府の金融・財政政策などによる効果を背景とした消費マインドの向上や企業の収益改善に伴う設備投資の増加などにより、景気は緩やかに回復いたしました。

建材市場におきましては、住宅投資、公共投資が堅調に推移しました。アルミニウム形材及びビレットの国内市場は、一般機械、電機、輸送分野を中心に好調な動きが見られました。商業施設市場は、コンビニエンスストアを中心とした積極的な出店などにより堅調な推移となりました。

このような状況の中、『さらなる成長と新たな価値創造』を基本方針とする中期経営計画の達成に向け、「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」への取り組みを進めるとともに、コストダウンなど効率化に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,952億36百万円（前連結会計年度比8.6%増）、営業利益166億13百万円（前連結会計年度比37.6%増）、経常利益155億53百万円（前連結会計年度比41.3%増）、当期純利益126億98百万円（前連結会計年度比9.1%増）となりました。

当社は、グループ全体の経営基盤の強化と収益力向上によって、継続的な企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。当期末は1株につき25円の配当とさせていただきました。

今後の見通し

今後の見通しとしましては、消費税増税後の一時的な需要減少が見込まれるものの、政府の政策による効果や消費マインドの改善が続くことなどにより、景気は緩やかな回復が続くものと思われます。一方、円安などによる輸入原材料価格の上昇が継続することなども見込まれます。

建材市場につきましては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動などにより、平成26年度の新設住宅着工戸数は86.7万戸（前年度比88%）、非木造建築着工床面積は83百万㎡（前年度比96%）が見込まれるなど、市場は縮小するものと想定しております。

アルミニウム形材及びビレットの国内市場では、一般機械・電機・輸送分野を中心に、軽量化のニーズの底堅さなど

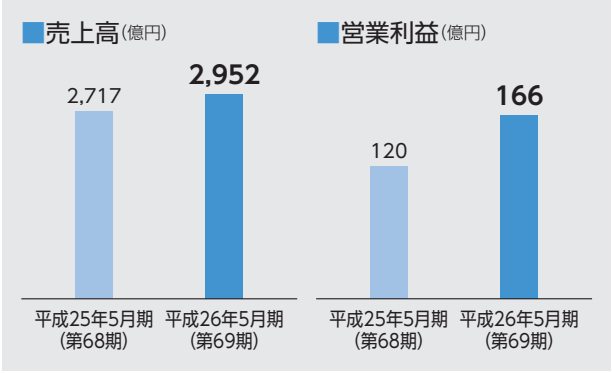
から、引き続き市場の拡大が見込まれます。

商業施設市場では、コンビニエンスストアを中心に新規出店数が増加するなど、堅調な推移が見込まれます。

このような状況を見据え、当社は平成23年7月に発表いたしました「VISION2020」の実現に向け、「さらなる成長と新たな価値創造」を基本方針とした中期3ヵ年経営計画を推進しており、平成26年度は本中期3ヵ年経営計画の最終年度となります。目標達成に向け、既存事業の拡大とともに「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」に向けた施策・投資の実施、既存事業と新たなグループ会社とのシナジー創出と総合力発揮、人員面・財務面での効率的な体制の構築を引き続き推進してまいります。

創業の原点である「お得意先・地域社会・社員」の三者が協力し共栄するという協業の精神を当社グループ全体が認識し、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を展開することで、引き続きグループ企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



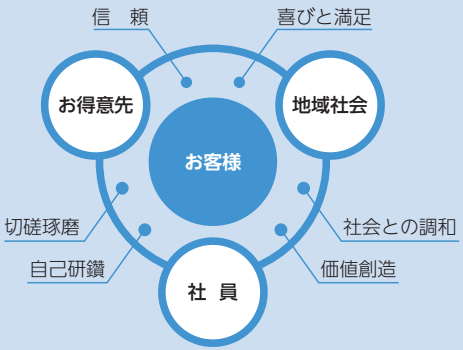
経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

- お客様満足 ① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。
- 価値創造 ② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。
- 社会との調和 ③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。
- 自己研鑽 ④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。

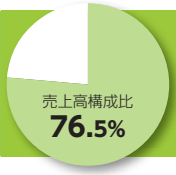


CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場･視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

セグメント別の概況

建材事業

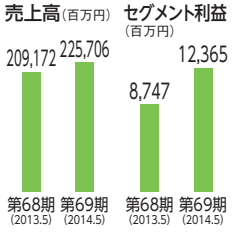


多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

三協アルミ

売上高
2,257億6百万円
(対前年同期比7.9%増)

セグメント利益
123億65百万円
(対前年同期比41.4%増)



建材事業は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景とした新設住宅着工増加への対応や公共事業の取り込みを進めるとともに、販売網の強化や改装・リフォーム需要への対応に注力してまいりました。

ビル建材・STER

ビル建材事業では、コスト改善に加えて、販売網の強化や自然換気商品などの差別化商品の拡販を行ってまいりました。また、自然換気システム「ARM-S@NAV」がドイツの「iF デザイン賞」を受賞しました。

改装・環境分野のSTER事業では、学校、マンション、一般ビルなど改装提案に注力するとともに、コスト改善を進めてまいりました。

スウィンドウ

ARM-S@NAV

カーテンウォール

住宅建材

住宅建材事業では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などの取り組みに注力するとともに、業界トップクラスの断熱性を実現した新樹脂窓「スマージュ」「トリプルスマージュ」などの新商品の市場投入や、リフォーム需要の取り込みを行ってまいりました。
また、電気錠とハンドルを一体化し、利便性やデザイン性を高めた電気錠一体型ハンドル「UBアーチハンドル」を発売するなど、玄関ドアの拡販に注力いたしました。

新樹脂窓「スマージュ」

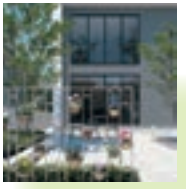
玄関ドア電気錠UBアーチハンドル

リモコンキー

エクステリア建材

エクステリア建材事業では、販売網の強化や消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要などの取り込みを行ってまいりました。
また、2013年春に発足した、5組の建築家と新しい住空間を考えるプロジェクト「SACLAB」に初の製品となるフェンス「S.ボーダー」シリーズの開発や、ガーデンテラス「スマーレ」に自然の風を効率的に取り入れることができる業界初の新機能窓を採用するなど、新商品の市場投入を行いました。

ガーデンテラス「スマーレ」


「RING RING」

「mermaid」

〈フェンス「S.ボーダー」シリーズ〉

「kaede」

「momi」

以上の結果、売上高2,257億6百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益（営業利益）は、123億65百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

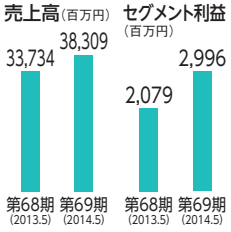
マテリアル事業

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。

三協マテリアル

売上高
383億9百万円
(対前年同期比13.6%増)

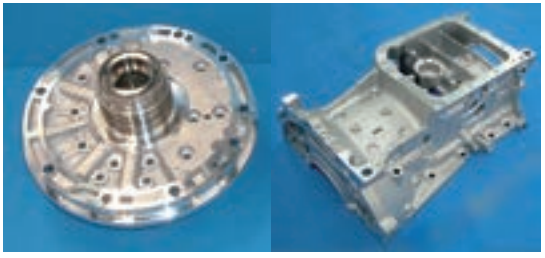
セグメント利益
29億96百万円
(対前年同期比44.1%増)

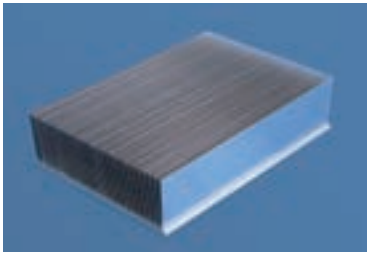


マテリアル事業では、合金開発から高精度・大型形材・精密加工の一貫生産体制の強みを活かした既存領域の拡大とともに、産業用太陽光発電需要や輸送関連需要の取り込みなどを進めました。
加えて石川精機株式会社の取得や株式会社リョーサンのヒートシンク生産事業の取得に向けた取り組みを進めるなど、事業基盤強化に向けた体制を整備いたしました。

以上の結果、売上高383億9百万円(前年同期比13.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、29億96百万円(前年同期比44.1%増)となりました。

TG-bar(鍛造・切削加工用アルミ素材)


石川精機製自動車用部品


ヒートシンク

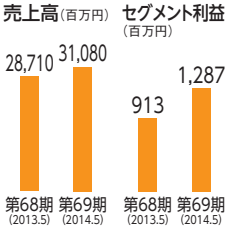
商業施設事業

ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。

タテヤマアドバンス

売上高
310億80百万円
(対前年同期比8.3%増)

セグメント利益
12億87百万円
(対前年同期比41.0%増)



商業施設事業では、コンビニエンスストアを中心とした新規出店や改装需要の取り込みを推進してまいりました。また、海外においては、中国(上海)の製造・販売拠点を中心に、現地に進出している日系小売業および現地資本の小売業への販売拡大を進めるとともに、欧米を含めた海外での販売拡大などに取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高310億80百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は12億87百万円(前年同期比41.0%増)となりました。

LED電装ユニット「アドビューL」

店舗用汎用陳列什器

店舗用LEDファサードサイン「AD PACK」

新テレビCMの全国放映などドラえもんを起用した宣伝・販促施策スタート

平成26年6月より、企業認知度向上に向け、国内外で高い人気を誇るキャラクター“ドラえもん”を起用した宣伝・販促施策をスタートしました。今回の施策を機に、6人の女性社員で構成した「女性推進WG」を立ち上げ、女性目線・感性を活かした企画立案・展開に向けた取り組みを進めております。
新テレビCMの全国放映をはじめ、ホームページ、広告や販促ツールを利用したキャンペーンや各種イベントなど、今後もさまざまな取り組みを行ってまいります。

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

自然換気システム「ARM-S@NAV」がドイツの「iFデザイン賞」受賞

当社ビル用自然換気システム「ARM-S@NAV」が、世界的に最も権威あるデザイン賞の一つ「iFデザイン賞2014」(主催:ドイツ・ハノーバー工業デザイン協会)を受賞しました。
これは、全世界の工業製品から優れたデザインに贈られる著名な賞で「製品(プロダクト)」「コミュニケーション」「パッケージング」の3部門において受賞製品が選ばれます。今回は世界55カ国から4,615点の応募があり、1,626点が受賞しました。

「第8回キッズデザイン賞」受賞「UBアーチハンドル」&「スマージュ」／「トリプルスマージュ」引違い窓

当社住宅用2商品が「第8回キッズデザイン賞」(主催:特定非営利活動法人キッズデザイン協議会)の「子ども視点の安全安心デザイン 一般部門」で受賞しました。玄関ドア電気錠「UBアーチハンドル」は子どもでも指1本で簡単にドアの施解錠ができる操作性、高断熱樹脂窓「スマージュ」引違い窓は、レールの下部にスリット加工を施すことで足裏のケガを防ぐ安全性などが評価されました。

スマージュ

UBアーチハンドル

広島大学との共同開発「モバイルブリッジ」がTBS「夢の扉＋」で紹介

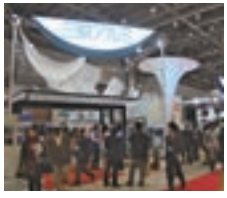
平成26年6月29日放送のTBSのテレビ番組「夢の扉+」に、広島大学が中心となり、三協マテリアル他5者で共同開発を行っている「モバイルブリッジ」が紹介されました。災害復旧支援のための仮設橋「モバイルブリッジ」は持ち運びできて伸び縮み可能、少人数かつ短時間（10分）で設置可能なことから、実用化すれば、被災地で迅速な対応が期待できます。現在は、実用化に向けた取り組みを進めています。

「国際店舗設備・販売促進機材展 EuroShop2014」に出展

平成26年2月16日～20日、ドイツのデュッセルドルフ見本市会場にて「国際店舗設備・販売促進機材展EuroShop2014」が開催され、上海立山商業設備有限公司と立山貿易（上海）有限公司が共同出展いたしました。ヨーロッパを中心にアジアやアメリカなど57カ国の企業2,226社が出展し、約11万人が商談に訪れました。
当社からは主力商品の「タテヤマゴンドラ」のほか、中国国内および海外輸出向け専用什器を展示しました。

エクステリア新商品展示会開催「SACLAB」第1弾 フェンス「S.ボーダー」シリーズなど展示

平成26年4月～6月、東京、静岡、長野、福岡、仙台、名古屋、大阪の7都市で、「Let's Party!Fun Garden!」をテーマにエクステリア商品の展示会を開催しました。昨年春に発足した5組の建築家とともに新しい住空間を考えるプロジェクト“SACLAB”から生まれた第1弾のフェンス「S.ボーダー」シリーズなどを展示。
各会場には代理店様、販売店様が多数来場されました。



S.ボーダー
「RING RING」

北陸新幹線開業に向けアルミ産業をアピール 一般のお客様向け工場見学開始

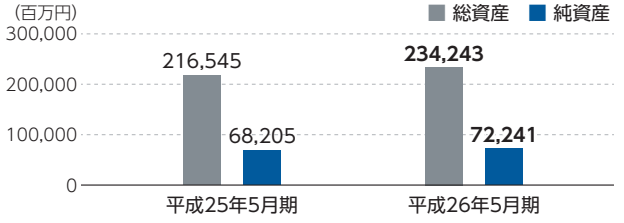
当社は平成26年4月より、産業観光の一環として、射水（いみず）市内の主要工場にて一般のお客様向け工場見学の受け入れを開始しました。見学用ツールの制作や見学通路の整備など体制を整え、一般の方をはじめ学生や企業など県内外から多数ご来場いただいています。
平成27年春の北陸新幹線開業に向け、今後も地域の活性化を図るとともに、観光客やお客様に富山県のアルミ産業をアピールする取り組みを進めてまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科　目	当　期 平成26年5月31日現在	前　期 平成25年5月31日現在
資産の部		
流動資産	123,612	107,284
現金及び預金	27,589	24,772
受取手形及び売掛金	59,823	51,521
有価証券	3,799	－
商品及び製品	11,690	11,130
仕掛品	13,743	14,295
原材料及び貯蔵品	3,885	3,514
繰延税金資産	3,051	1,474
その他	3,832	4,009
貸倒引当金	△3,805	△3,434
固定資産	110,630	109,261
有形固定資産	93,193	92,489
無形固定資産	1,770	835
投資その他の資産	15,667	15,935
資産合計	234,243	216,545
負債の部		
流動負債	113,055	105,397
支払手形及び買掛金	51,584	46,580
短期借入金	19,404	22,062
その他	42,066	36,754
固定負債	48,945	42,942
長期借入金	23,083	24,384
その他	25,861	18,557
負債合計	162,001	148,340
純資産の部		
株主資本	74,487	63,699
その他の包括利益累計額	△3,264	3,724
少数株主持分	1,019	781
純資産合計	72,241	68,205
負債純資産合計	234,243	216,545



連結損益計算書

(単位：百万円)

科　目	当　期 平成25年6月1日～ 平成26年5月31日	前　期 平成24年6月1日～ 平成25年5月31日
売上高	295,236	271,757
売上原価	219,425	201,687
売上総利益	75,810	70,069
販売費及び一般管理費	59,197	57,996
営業利益	16,613	12,073
営業外収益	1,630	1,765
営業外費用	2,690	2,829
経常利益	15,553	11,009
特別利益	292	834
特別損失	2,318	1,255
税金等調整前当期純利益	13,528	10,588
法人税等	586	△1,149
少数株主損益調整前当期純利益	12,942	11,737
少数株主利益	243	102
当期純利益	12,698	11,635

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科　目	当　期 平成25年6月1日～ 平成26年5月31日	前　期 平成24年6月1日～ 平成25年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,002	16,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,919	△4,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,315	△11,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,746	974
現金及び現金同等物の期首残高	23,990	17,656
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	339
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	5,020
現金及び現金同等物の期末残高	30,737	23,990

会社概要／株式情報 (平成26年5月31日現在)

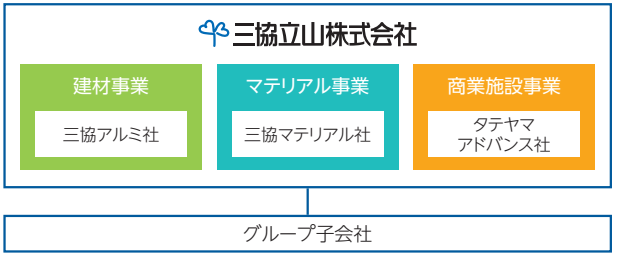
会社概要

会社名	三協立山株式会社
所在地	〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
設立	昭和35年6月20日
資本金	150億円
従業員数	5,759名
URL	http://www.st-grp.co.jp/

取締役および監査役 (平成26年8月27日現在)

代表取締役会長	藤木正和
代表取締役社長	山下清胤
取締役副社長	蒲原彰三
常務取締役	岡本誠
常務取締役	庄司美次
常務取締役	山田浩司
取締役	中野敬司
取締役	阿見秀一
常勤監査役	市山久一
常勤監査役	三村伸昭
常勤監査役	野崎博見
監査役	角木完太郎
監査役	荒木二郎

グループ図



株式の状況

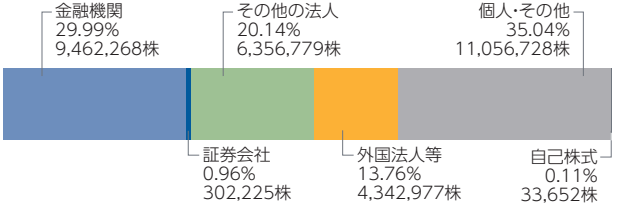
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	31,554,629株
株主数	23,280名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
住友化学株式会社	2,235	7.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,450	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,339	4.25
三協立山社員持株会	1,134	3.60
ジェーピー モルガン チェース バンク385632	1,040	3.30
三井住友信託銀行株式会社	971	3.08
三協立山持株会	926	2.94
株式会社北陸銀行	888	2.82
ST持株会	860	2.73
第一生命保険株式会社	445	1.41

(注) 出資比率は自己株式33,652株を除いて算出しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
定時株主総会	8月
基準日	定時株主総会　5月31日 期末配当　5月31日 中間配当　11月30日
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告（http://www.st-grp.co.jp/） ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜郵便物送付先＞	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜電話照会先＞	0120−782−031
＜インターネットホームページURL＞	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元（100株）未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内

詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

http://www.st-grp.co.jp/　三協立山　検索

今後のIRスケジュール

- **2014年10月上旬**　平成27年5月期 第1四半期決算発表
- **2015年1月上旬**　平成27年5月期 第2四半期決算発表
- **2015年2月上旬**　平成27年5月期 中間報告書発送

三協立山株式会社
〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
TEL 0766-20-2101

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。